

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その2)

対象事業者(農業・林業・漁業・鉱業・採石業・砂利採取業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸売・小売業、写真業、生活関連サービス業・娯楽業)

記入例

⑦の回答による分岐（エクセルで入力される場合、⑦を入力いただくとその後の設問でご回答いただきたい箇所が着色しますので、着色箇所に関してご回答をお願いします。）

|                                   |                       |
|-----------------------------------|-----------------------|
| S 1：処理業者の処分場で直接埋立処分した（中間処理を経由しない） | ⇒⑨⑩を回答                |
| S 2：処理業者で直接海洋投入処分した（中間処理を経由しない）   | ⇒⑨⑩を回答                |
| S 3：処理業者に中間処理（資源化、リサイクルを含む）を委託した  | ⇒⑧～⑪及び再生利用している場合は⑫を回答 |
| S 4：廃品回収（資源）業者（専ら業者等）で処理した        | ⇒⑧～⑫を回答               |
| Q 1：自社の処分場で埋立処分した                 | ⇒⑩を回答                 |
| Q 2：売却できるものを自社で再利用した              | ⇒⑫を回答                 |
| Q 3：売却できないものを自社で再利用した             | ⇒⑫を回答                 |
| Q 4：売却（利益があった）した                  | ⇒⑨⑩⑫を回答               |
| Q 5：自社で保管している                     | ⇒以降回答不要               |
| R 1：市町村の処分場で埋立処分した                | ⇒⑨⑩を回答                |
| R 2：市町村の清掃工場で処理した（ごみ収集に出すことも含む）   | ⇒⑧～⑪及び再生利用している場合は⑫を回答 |
| R 3：市町村の清掃工場でリサイクルした              | ⇒⑧～⑫を回答               |
| Z 1：農地等の高上げ材として処分した               | ⇒⑧～⑪及び再生利用している場合は⑫を回答 |
| Z 2：知人の所有地で処分した                   | ⇒⑧～⑪及び再生利用している場合は⑫を回答 |
| Z 3：農地・河川敷・山林で処分した                | ⇒⑧～⑪及び再生利用している場合は⑫を回答 |
| Z 4：納入業者等に取り戻してもらった               | ⇒⑨を回答                 |
| Z 5：その他                           | ⇒その他の回答内容に応じて         |

| ブロック1<br>(廃棄物の発生状況)  |  |           |               |    | ブロック2<br>(自己処理状況)  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 | ブロック3<br>(発生した廃棄物の処理方法)   |                                   |         |      |                         |  |                   |                    |                  |                |                         |   |                         |  |      |
|--|--|-----------|---------------|----|--|--------|------|--------|-------------|--|-------------|-------------------------|---------|-----------------|---|-----------------------------------|---------|------|-------------------------|--|-------------------|--------------------|------------------|----------------|-------------------------|---|-------------------------|--|------|
|  | ①廃棄物の名称                                | ②廃棄物の分類番号 | ③年間発生量        |    | ④処分方法記号  |        |      |        | ⑤処理後物の名称    |  |             |                         | ⑥中間処理後量 |                 | ⑦処理・処分方法  |                                   | ⑧処分方法記号 |      |                         |  | ⑨処理・処分先又は再生利用先の名称 | ⑩処理・処分先又は再生利用先の所在地 |                  | ⑪中間処理後の処分方法    | ⑫資源化用途番号                |   |                         |  |      |
|  |  |           |               | 単位 | 1次処理   | 2次処理   | 3次処理 | その他の内容 | 処理後物が廃棄物の場合 |  | 処理後物が有価物の場合 |                         |         | 単位              |   |                                   | 1次処理    | 2次処理 | 3次処理                    | その他の内容   |                   | 都道府県               | 市町村              |                |                         | その他の内容  |                         |  |      |
| 説明   | 選択リスト1から該当するものを選んでください。                |           | 発生量を記入してください。 |    | 選択リスト2から該当するものを選んでください。  |        |      |        | 自由記載        | 選択リスト1から該当するものを選んでください。  |             | 選択リスト3から該当するものを選んでください。 |         | 処理後の量を記入してください。 |   | 選択リスト4から該当するものを選んでください。           |         | 自由記載 | 選択リスト2から該当するものを選んでください。 |  | 自由記載              | 名称を記入してください。       | 都道府県の名を記入してください。 | 市町村名を記入してください。 | 選択リスト5から該当するものを選んでください。 |   | 選択リスト3から該当するものを選んでください。 |  | 自由記載 |
| 事例：A   | 鉄くず                                    | 1201      | 100           | t  |  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 |   | Q 4：売却（利益があった）した                  |         |      |                         |  |                   | ㈱○○                | 神奈川県             | 横浜市            |                         | R10：鉄鋼原料  |                         |  |      |
|  | 鉄くず                                    | 1201      | 50            | t  |  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 |   | Q 4：売却（利益があった）した                  |         |      |                         |  |                   | (有) △△             | 東京都              |                |                         | R10：鉄鋼原料  |                         |  |      |
| 事例：B   | 鉱物油                                    | 0311      | 1080          | kg |  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 |   | S 3：処理業者に中間処理（資源化、リサイクルを含む）を委託した  | E：油水分離  |      |                         |  |                   | ××商店               | 神奈川県             | 横須賀市           | 1. 再生利用・リサイクルしている。      | R30：【ブラ以外】燃料（ガス化・油化等による燃料としての再生）  |                         |  |      |
| 事例：C   | プラスチック製品くず                             | 0614      | 450           | kg |  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 |   | S 3：処理業者に中間処理（資源化、リサイクルを含む）を委託した  | G：破砕    |      |                         |  |                   | ㈱××                | 神奈川県             | 川崎市            | 1. 再生利用・リサイクルしている。      | R80：【ブラのみ】マテリアルリサイクル（プラ原料化、プラ製品化）   |                         |  |      |
|  | プラスチック製品くず                             | 0614      | 50            | kg |  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 |   | S 3：処理業者に中間処理（資源化、リサイクルを含む）を委託した  | G：破砕    |      |                         |  |                   | ㈱××                | 神奈川県             | 川崎市            | 1. 再生利用・リサイクルしている。      | R82：【ブラのみ】燃料化（固形燃料化(RPF化など)、セメント原料化(セメント精製過程における燃料使用のみ)、ガス化・油化(燃料としての再生)） |                         |  |      |
| 事例：D   | 木くず(木くず、おがくず、かんなくず、パーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類) | 0800      | 10            | t  | A：焼却   |        |      |        |             | 燃え殻  |             |                         |         | 500             | kg  | Q 1：自社の処分場で埋立処分した                 |         |      |                         |  | 自社                | 神奈川県               | 横浜市              |                |                         |   |                         |  |      |
| 事例：E   | 無機性汚泥                                  | 0220      | 50            | t  | B：脱水   |        |      |        |             | 無機性汚泥  |             |                         |         | 10              | t   | S 1：処理業者の処分場で直接埋立処分した（中間処理を経由しない） |         |      |                         |  | 〇〇㈱               | 宮城県                |                  |                |                         |   |                         |  |      |
| 事例：F   | 特定有害無機性汚泥                              | 0229      | 10            | t  |  |        |      |        |             |  |             |                         |         |                 |   | S 3：処理業者に中間処理（資源化、リサイクルを含む）を委託した  | Z：その他   |      |                         |  | 無害化処理             | △△産業               | 神奈川県             | 大和市            | 2. 埋立処分している。            |   |                         |  |      |
|  | 無機性汚泥                                  | 0220      | 100           | t  | B：脱水   | D：機械乾燥 |      |        |             | 無機性汚泥  |             |                         |         | 25              | t   | S 1：処理業者の処分場で直接埋立処分した（中間処理を経由しない） |         |      |                         |  | ××㈱               | 神奈川県               | 横須賀市             |                |                         |   |                         |  |      |
| 事例：A<br>・鉄板の加工の際に鉄板くずが年間150t発生した。<br>・このうち、100tを横浜市にある㈱○○に売却した。<br>・残りの50tを東京都にある(有) △△に売却した。<br>・どちらの相手先も鉄鋼原料としている。 |  |           |               |    | 事例：B<br>・月平均一斗缶5本ぐらいの機械油が発生した。<br>・重量換算すると年間に1,080kgである。<br>(18kg×5本×12ヶ月)<br>・これは、横須賀市の再生業者××商店に処理を有料で依頼した。<br>・相手先では、油水分離後、燃料として再利用している。 |        |      |        |             | 事例：C<br>・プラスチック製品くずが500kg発生した。<br>・これは、川崎市の㈱××に処理を委託した。<br>・委託先では、粉砕して450kgをプラ原料化し、50kgを燃料化している。 |             |                         |         |                 | 事例：E<br>・排水処理汚泥が発生した。<br>・自社の施設で脱水を行い、脱水後の残さが10t（含水率85％）であった。<br>・脱水前の量は、計量していないので正確ではないが、脱水前の含水率が97％であるため計算すると、50t程度となる。<br>〈計算式〉<br>10t×(100－85)÷(100－97)＝50t<br>・処理後の汚泥は、県内の業者より処理コストが低いことから、宮城県に処分場を保有する〇〇㈱で直接埋立処分した。(埋立地までの運搬は△△㈱であるが記載しない。) |                                   |         |      |                         | 事例：F<br>・特定有害汚泥と排水処理汚泥が100t発生した。<br>・特定有害汚泥は年間10t発生し、自社での中間処理は行わず、大和市に処理施設を保有する△△産業に収集・運搬及び中間処理を委託した。<br>・この汚泥は鉛を含んでいる可能性が高いため、溶出試験を行ったところ判定基準を超えていた。<br>・業者では、無害化処理した後、横浜市内の最終処分場で埋立処分している。<br>・また、排水処理汚泥は、濃縮後の100tを自社の施設で脱水・乾燥し、処理後の残さ25tは横須賀市に処分場を保有する××(株)で直接埋立処分した。 |                   |                    |                  |                |                         |   |                         |  |      |